

【件名】歩きたくなるまちづくり推進の考え方について

【要旨】

歩きたくなるまちづくりの推進は、まちの魅力や安全性の向上だけでなく、区民の外出機会の増加による、人と人がつながる新たな活力の創出や区民の健康増進等も期待できるなど、区が進める様々な施策にも波及効果を及ぼす効果的な取組である。

これらの効果は、区が基本構想に掲げる「つながる はじまる なかの」の実現に大きく寄与するものであり、今後区が取組を進める歩きたくなるまちづくりについて、以下の通り基本的な考え方を取りまとめた。

1 歩きたくなるまちづくりのねらい

(1) 目的

街路や公園等の都市施設のほか、民有地も含めた公共的な空間等について、区、区民、事業者等によるウォーカブルな環境整備を推進することにより、誰もが自然と歩きたくなる快適で魅力的なまちの実現を目指す。

(2) 目指すまちの姿

歩きたくなるまちづくりの推進により、以下に示すまちの姿の実現を目指す。

- 多様な人々が集い、つながる、賑わいのあふれるまち
- ユニバーサルデザインとバリアフリーが進んだ、人中心のまち
- 中野らしいまち並みや景観に愛着の感じられる、居心地の良いまち

2 歩きたくなるまちづくりによる効果

中野区基本計画における3つの重点プロジェクト推進の視点から、歩きたくなるまちづくりが及ぼす効果と関連性について以下に示す。

(1) 子育て先進区の実現

- ・ ベビーカーやファミリー層にとって楽しく歩きやすい歩行環境の整備や、気軽に集まり、憩うことのできる居心地の良い公共空間の創出による、楽しく子育てができるまちの実現。
- ・ 清潔で見通しの良いまち並みや、街路照明が適切に配置された歩道など、親子が安心して暮らせる安全なまちの実現。

(2) 地域包括ケア体制の実現

- ・ スマートウェルネスシティの理念を踏まえた、快適な歩行空間の整備や地域公共交通サービスの充実等による、区民の外出意欲の向上及び外出に伴う健康度、幸福度の向上。

- ・ 人々が集い、憩い、交流することのできる魅力的な公共空間の創出による、多世代地域コミュニティの活性化。

(3) 活力ある持続可能なまちの実現

- ・ 商店街や飲食店街の歩行空間の工夫（街路舗装、滞留空間等）による、まちの賑わい及び魅力の向上。
- ・ 人中心の、車に頼らないウォーカブルなまちづくりや、みどりのネットワーク構築による、憩い・安らぐことができる都市空間の実現。
- ・ 中野の個性や地域らしさがあふれる魅力的なまち並みの形成による、地域ブランドの醸成及びまちの活力向上。

3 取組の考え方

歩きたくなるまちづくりを効果的に推進していくため、以下の考え方にに基づきながらウォーカブルな環境の整備に取り組んでいく。

(1) 快適な歩行空間の実現

- ・ ユニバーサルデザイン及びバリアフリー化の推進。
- ・ 日よけの設置や中高木配置の工夫による、歩行者等が休める日陰の創出。
- ・ 人中心の歩行環境の実現に向けた、歩行者と自転車等がともに快適に移動できる街路整備の推進。
- ・ 公共施設や民間施設の整備や改修等に合わせた、歩行者等が気軽に腰をかけられるスペースの確保または誘導。
- ・ 新たな公共交通サービスや次世代モビリティ等の新技術の活用促進による、外出しやすい交通環境整備の推進。

(2) 魅力的な公共空間とまちの景観の実現

- ・ 公共施設において、誰もが「賑わう」「憩う」「安らぐ」ことのできる居心地の良い公共空間の積極的な整備及び活用、並びに民間施設や公開空地等における同様の働きかけ。
- ・ 各種制度等の活用や民間事業者等との連携による、柔軟かつ多様なオープンスペース活用に伴う、まちの賑わい創出。
- ・ みどりの空間整備や街路樹の適正管理による、良好なまちの景観を感じられる公共空間の形成。
- ・ 中野らしいまち並みや風景の継承を図った適切な景観誘導による、地域の魅力を引き出す空間整備の推進。

(3) 区民等への啓発

歩きたくなるまちづくりの着実な推進のためには、区民や事業者等の理解・協力が不可欠であることから、区民等の理解促進に資する講演会やセミナー等を継続的に実施するほか、区が進めるウォーカブルな環境整備に関する積極的な情報発信を行う。

(4) 社会実験の実施

歩きたくなるまちづくりの推進には、ハード・ソフト両面においてこれまでにない新しい取組や仕組みの活用等が必要となることから、基盤整備や制度導入を本格的に実施する前に、一定のエリアや期間での試行的な取組を実施し、その効果や課題の検証を行う。

4 今後の予定

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 令和7年度 | ・「(仮称) 中野区歩きたくなるまちづくり構想」の策定 |
| 令和8年度 | ・ウォーカブルな環境整備に関する基本方針の検討 |
| | ・区内モデル地区における社会実験の実施 |